

平成29年度 鳥取大学地域学部入学試験問題

(AO入試)

課題論文

(地域学部 地域学科 国際地域文化コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は3ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙(縦書き)に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

次の資料は、鷺田清一氏が自著『哲学の使い方』（岩波書店、二〇一四年）の中で、「ぐぐぐぐぐする権利」について述べている箇所である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

注1 持続可能性。現在の世代の活動が、将来の世代の活動を損なうことなく持続できるかどうかを表す概念。（『広辞苑』第六版に基づく）

注2 事件や状態の最終的に落ち着くところ。帰着するところ。（『広辞苑』第六版に基づく）

注3 ここで述べる「知政学」とは、科学研究と政治的諸課題を一体化してとらえようとする視点のことで、現代の諸問題を、幅広い視野から考察する態度を表わす。

注4 アメリカ、ニユースクール大学歴史学教授、専門は近代家族史。

【出典】『鷺田清一』哲学の使い方』、岩波書店、二〇一四年。

（一部、必要な漢字にはルビを加え、注を付した。）

問1 筆者の言う「ぐずぐずする権利」について、二〇〇字以内で要約しなさい。

問2 「ぐずぐずする権利」について、あなた自身の考えを、資料を参考にしながら、八〇〇字以内で述べなさい。